



“地域のことは地域で考えよう”

2016年7月26日

おきぎん県内景況・速報 2016年6月

一県内景況は、拡大している一

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高は前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を下回り、新車販売台数は上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を下回る。
生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年6月分)

◎2016年6月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

6月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は雑貨や食料品などが堅調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、エアコンやテレビの売上減少などにより前年同月を下回りました。新車販売台数は普通乗用車需要の増加などから前年同月を上回りました。

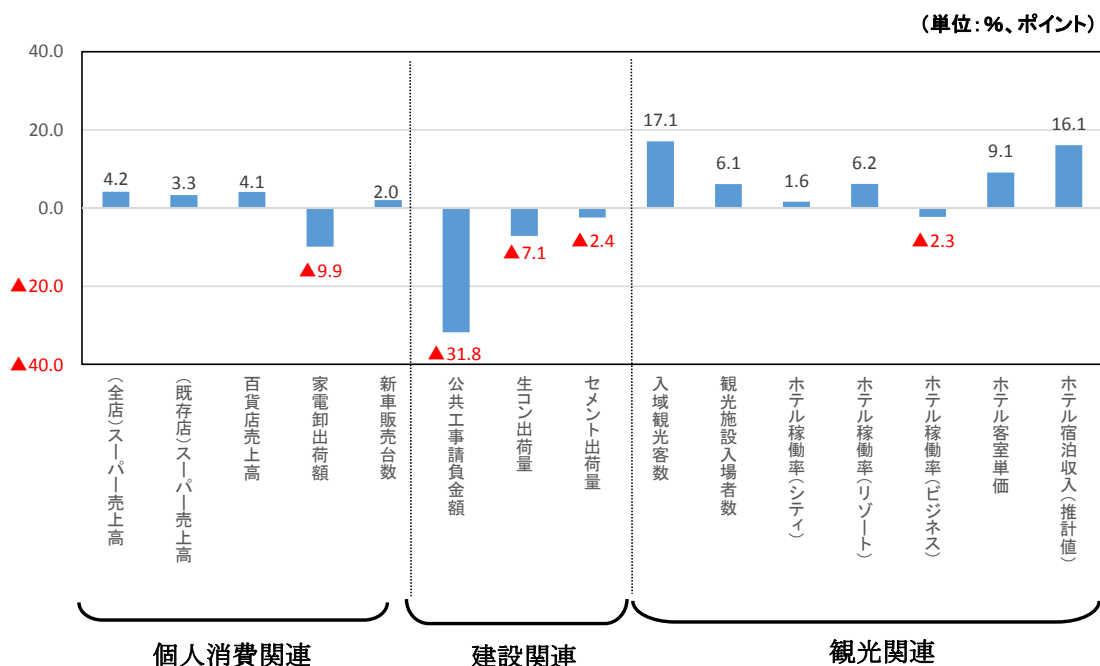
建設関連では、公共工事請負金額は、国や市町村発注による工事減などで前年同月を下回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は45ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテルが前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から29ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



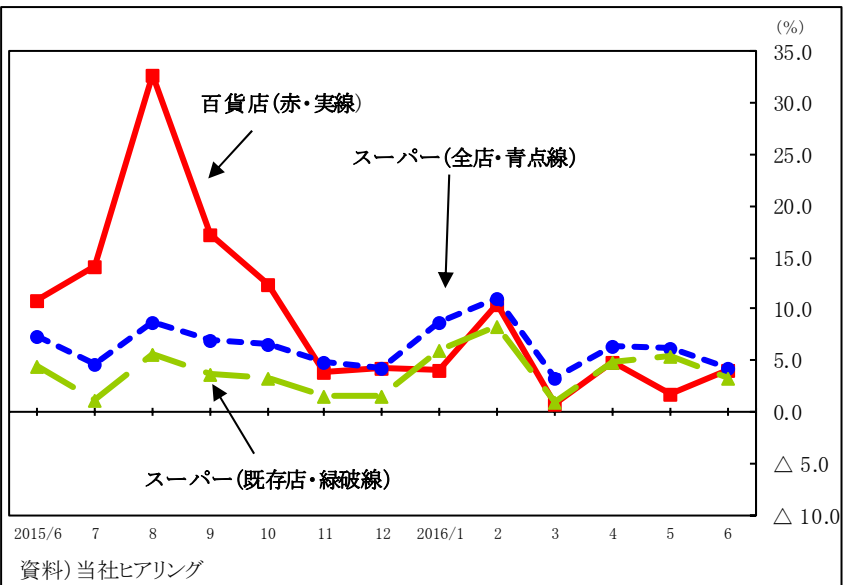


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2015/6	7.4	4.5	10.8
7	4.6	1.1	14.2
8	8.7	5.6	32.7
9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5
3	3.3	0.9	0.7
4	6.3	4.8	4.9
5	6.2	5.5	1.8
6	4.2	3.3	4.1

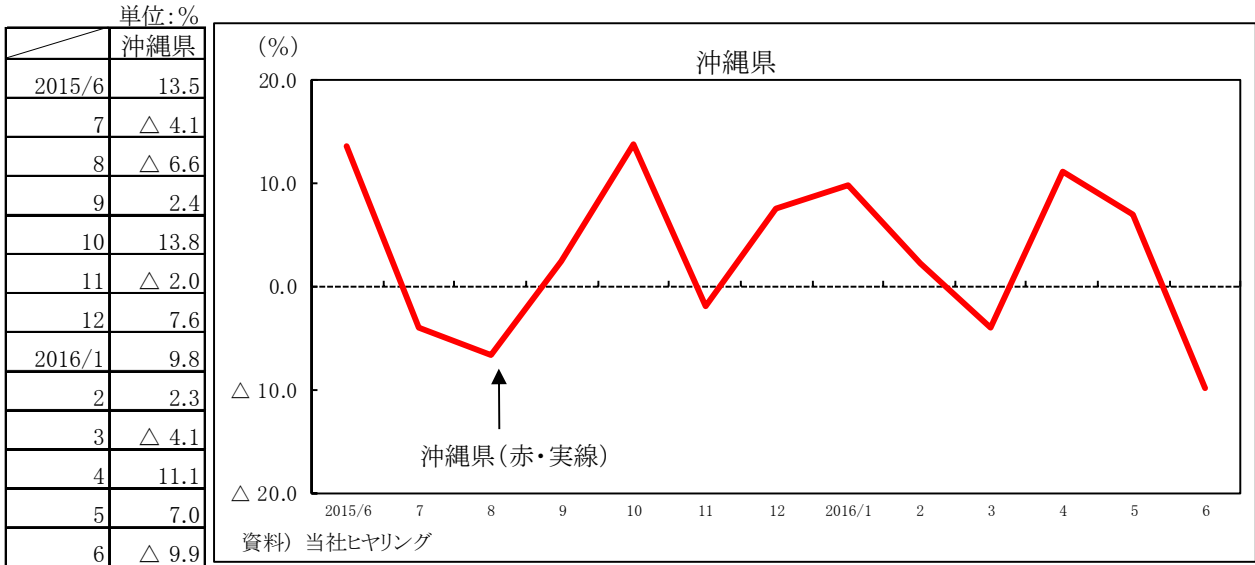


注) 前年同月比

6月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比4.2%増)**」が15ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規出店効果などにより、ウエイトの高い「食料品(同4.6%増)」や家電を含む「家庭用品(同5.3%増)」の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「**既存店ベース(同3.3%増)**」は店舗改装による集客効果などから、15ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウエイトの高い「食料品(同4.1%増)」は、生鮮全般(精肉・水産・青果)や惣菜の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。「衣料品(同1.7%減)」は、父の日ギフト需要がみられたものの、梅雨明け(今年16日、前年8日)が遅く気温も低く推移したことなどから、夏物衣料の売れ行きが不調で、前年同月を下回りました。また、家電を含む「家庭用品(同2.5%増)」は買い替え需要などから白物家電(洗濯機)やテレビなどの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)の増加などから、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、店舗改装や催事開催による集客効果などから「雑貨」や「食料品」などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました(同4.1%増)。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品(同0.5%増)」は、主力商品である「婦人服(同0.6%減)」や「紳士服(同0.7%減)」の売れ行きが伸び悩んだものの、着物を含む「その他衣料(同5.4%増)」が堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。「食料品(同5.1%増)」は、物産展開催による集客効果がみられたほか、生鮮全般や惣菜の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同16.5%増)」や「身の回り品(同15.7%増)」は催事の増加や継続的な国内外観光客需要などにより売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

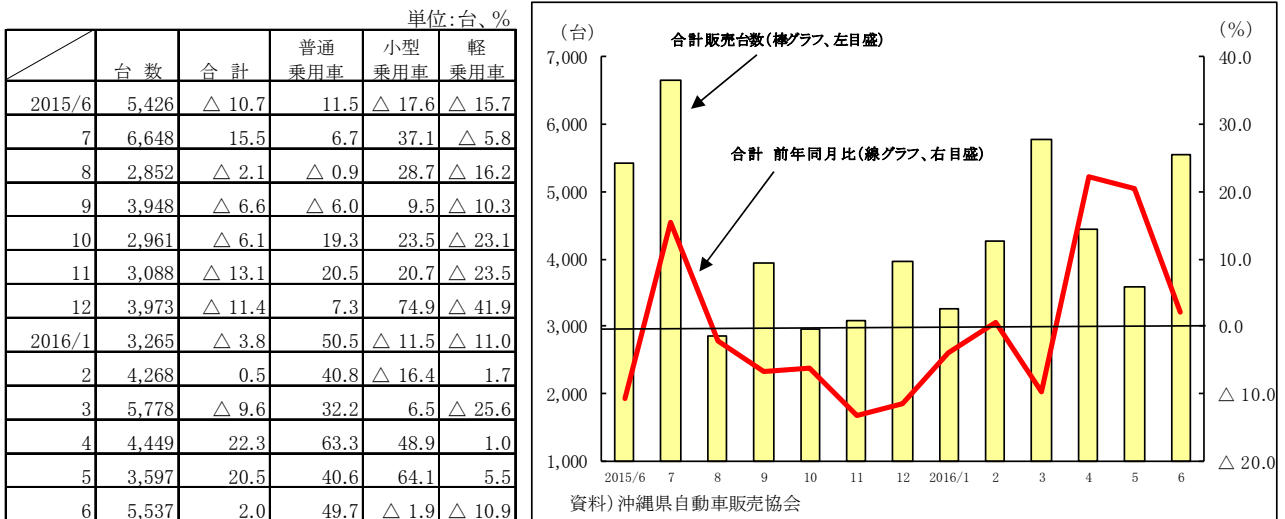
②家電卸出荷額…エアコンやテレビの売上減少などにより、前年同月を下回る。



注) 前年同月比

家電卸出荷額は、エアコンやテレビの売上減少などにより、3 ヶ月ぶりに前年同月を下回りました(同 9.9%減)。品目別では、「エアコン(同 12.2%減)」は梅雨明けが前年より遅く気温も低く推移したことなどから、「テレビ(同 18.1%減)」は 4K テレビなど高価格帯商品の需要が低下したことなどから、それぞれ売れ行きが伸びず前年同月を下回りました。また、「洗濯機(同 10.1%減)」、「冷蔵庫(同 8.2%減)」は新型商品効果がみられたものの、前年に伸びた反動減などから、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…普通乗用車の需要増加などから、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

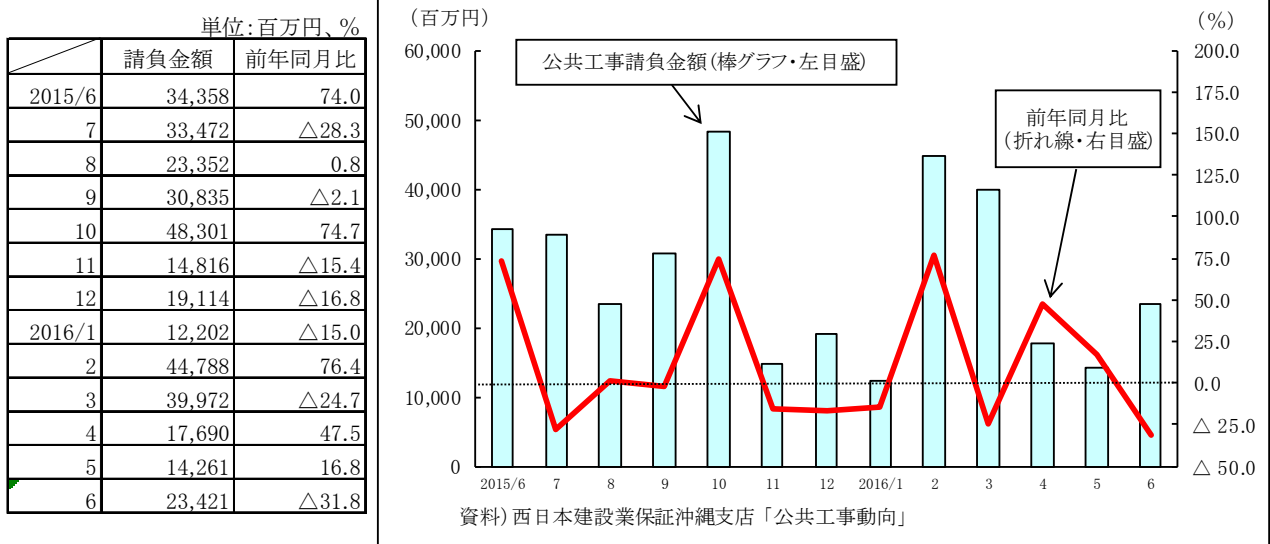
新車販売台数は、全体で5,537台(同2.0%増)となり、3ヶ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「小型乗用車(同1.9%減)」はレンタカー需要の減少などから4ヶ月ぶりに、「軽乗用車(同10.9%減)」は軽自動車税増税の影響などから3ヶ月ぶりに前年同月を下回りました。一方で、「普通乗用車(同49.7%増)」は自家用車やレンタカー需要の増加などから9ヶ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



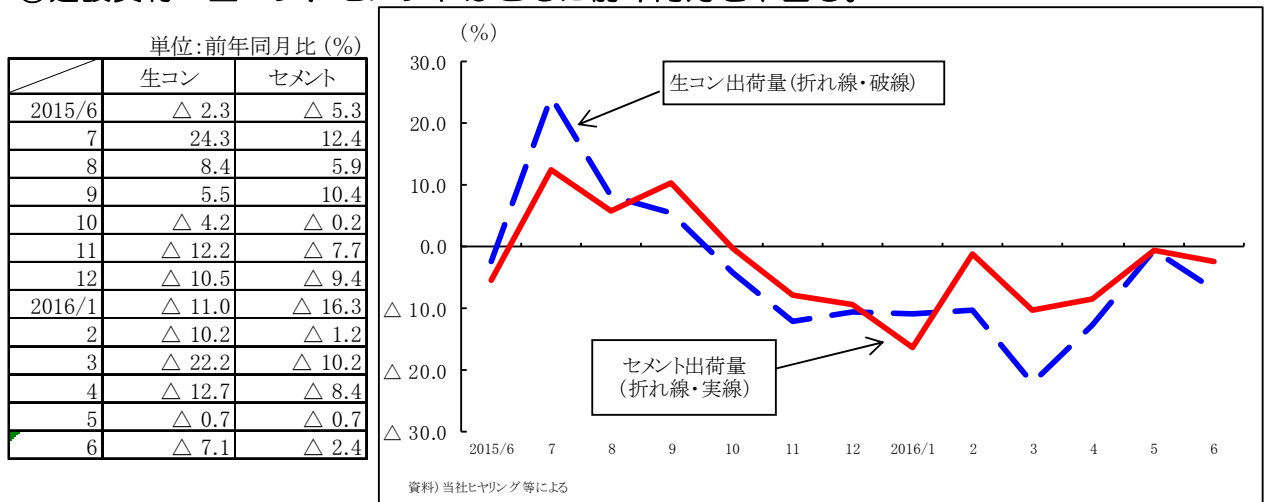
■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を下回る。



6月の公共工事請負金額は、前年同月比31.8%減の234億2,100万円となりました(3ヵ月ぶり減)。発注者別でみると、「沖縄県(同50.2%増)」は本部港関連工事などで前年同月を上回ったものの、「国(同60.3%減)」は前年あった那覇空港滑走路増設関連の大型工事など、「独立行政法人等(同75.0%減)」は沖縄自動車道関連の大型工事など、「市町村(同14.7%減)」はうるま市での小学校校舎改築工事など、「その他の公共的団体(同39.4%減)」は恩納村での大型工事などの反動で前年同月を下回りました。

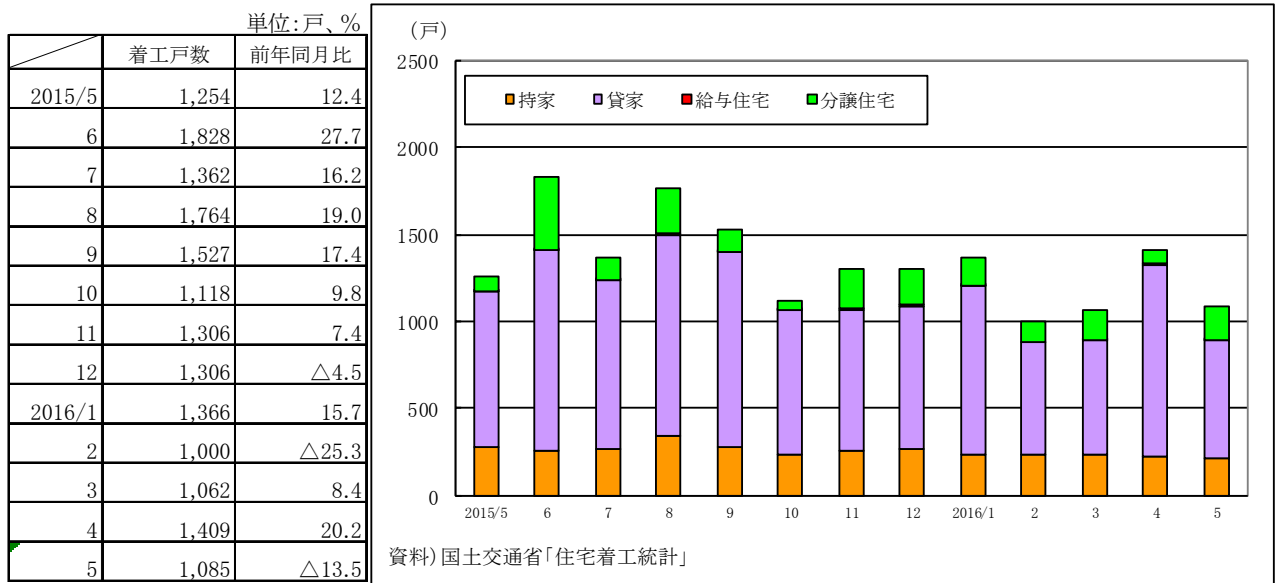
②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。



(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

建設資材関連では、**生コン**の出荷量は7.1%減少し9ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より5.6%下回り、民間工事向け出荷も7.8%下回りました。**セメント**出荷量も2.4%減と9ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(5月)…着工戸数は前年同月を下回る。



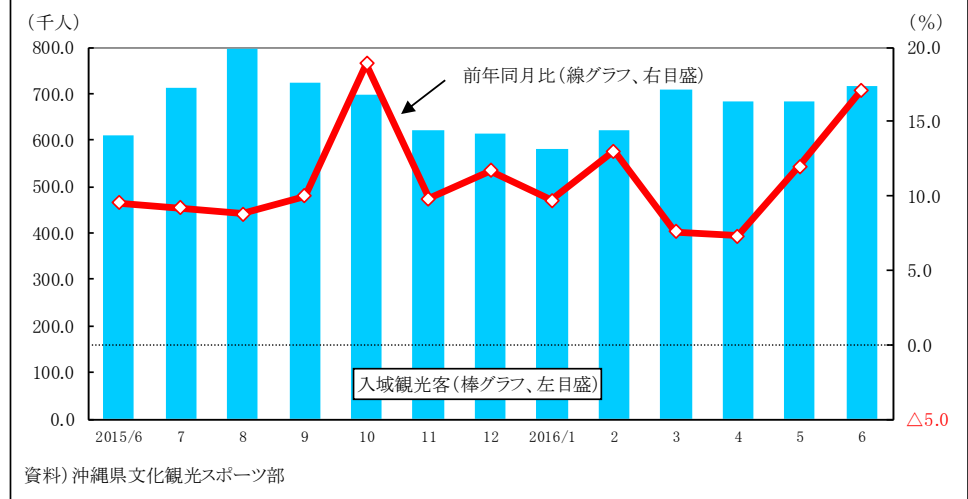
新設住宅着工戸数(5月)は、全体で前年同月比13.5%減の1,085戸と3ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「分譲住宅(同138.0%増)」は前年同月を上回りましたが、ウェイトの高い「貸家(同23.6%減)」や「持家(同22.2%減)」は下回りました。



■観光関連： (良い)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）…45ヵ月連続で前年同月を上回る。

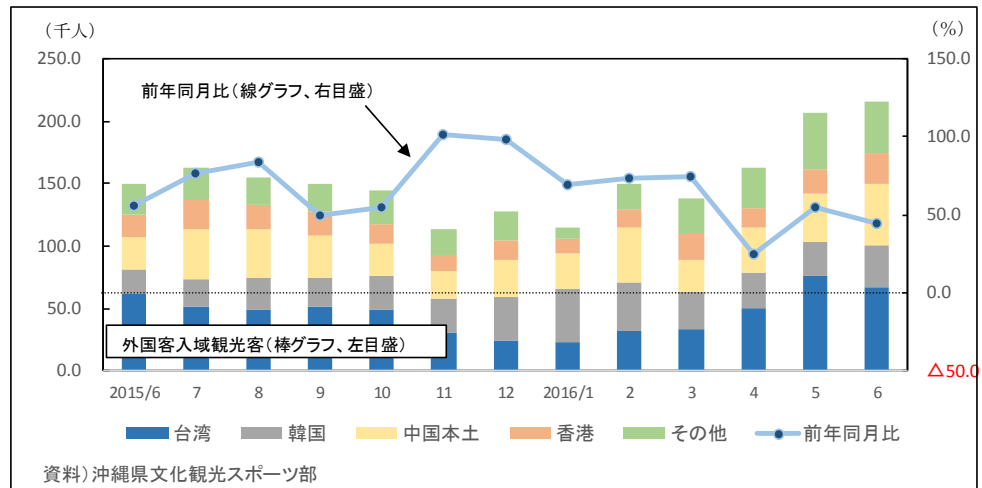
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/6	610.0	9.5
7	714.0	9.2
8	797.5	8.8
9	724.7	10.0
10	696.8	18.9
11	619.6	9.8
12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0
3	709.2	7.6
4	681.5	7.3
5	684.6	12.0
6	714.4	17.1



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…35ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/6	149.2	56.2
7	163.0	76.6
8	154.7	83.7
9	149.6	49.7
10	145.1	54.7
11	113.4	101.1
12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9
3	137.9	74.6
4	162.2	24.2
5	206.5	54.5
6	215.9	44.7



※外国客は乗務員等を含む

6月の入域観光客数は、104,400人多い714,400人(前年同月比17.1%増)となり、45ヵ月連続で前年同月を上回りました(6月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同8.2%増)」は498,500人と、航空路線の拡充、機材大型化による提供座席数の増加等により好調に推移したほか、各航空会社及び旅行会社による販売取り組み強化(価格値下げ、広告強化等)の効果も加わり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同44.7%増)」は、215,900人と35ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数増加等により、空路・海路ともに好調に推移したことから、前年同月を上回りました。

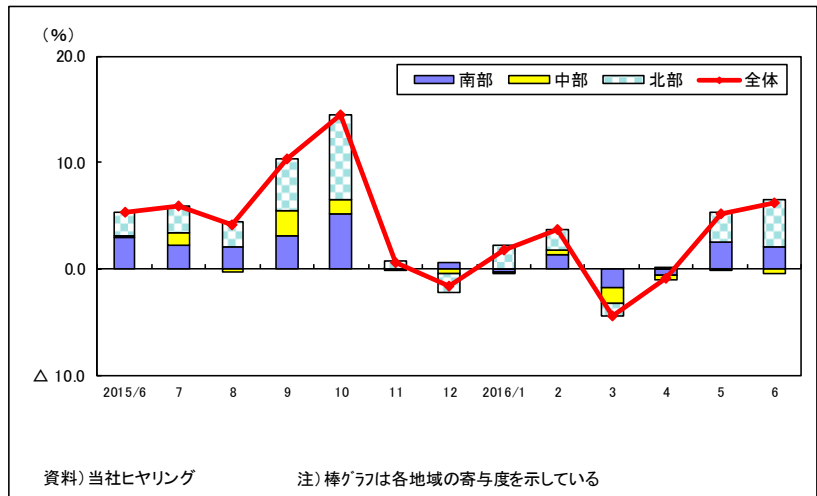
「台湾(同8.3%増)」「韓国(同77.0%増)」「中国本土(同91.1%増)」「香港(同29.8%増)」

※乗務員等を除く2016年6月実績＝全体684,100人(同15.3%増)、外国客185,600人(同40.2%増)、国内客は変わらない。

②観光施設入場者数…2ヵ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/6	5.3	7.4	1.8	r 4.4
7	6.0	6.4	10.1	4.8
8	4.1	6.3	△ 2.7	4.3
9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	14.4	12.7	9.8	17.2
11	0.6	△ 0.4	0.3	1.7
12	△ 1.6	1.4	△ 3.6	△ 3.8
2016/1	1.8	△ 0.7	△ 1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0
3	△ 4.4	△ 4.6	△ 11.4	△ 2.2
4	△ 0.9	△ 1.5	△ 3.0	0.3
5	5.2	r 6.5	△ 0.8	5.7
6	6.1	5.1	△ 3.6	9.2

* 調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設



観光施設入場者数は、全体で前年同月より 6.1%増加(2ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 5.1%増と2ヵ月連続、北部は同 9.2%増と3ヵ月連続で上回り、中部は同 3.6%減と4ヵ月連続で前年同月を下回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテルは前年同月を上回り、ビジネスホテルは下回る。

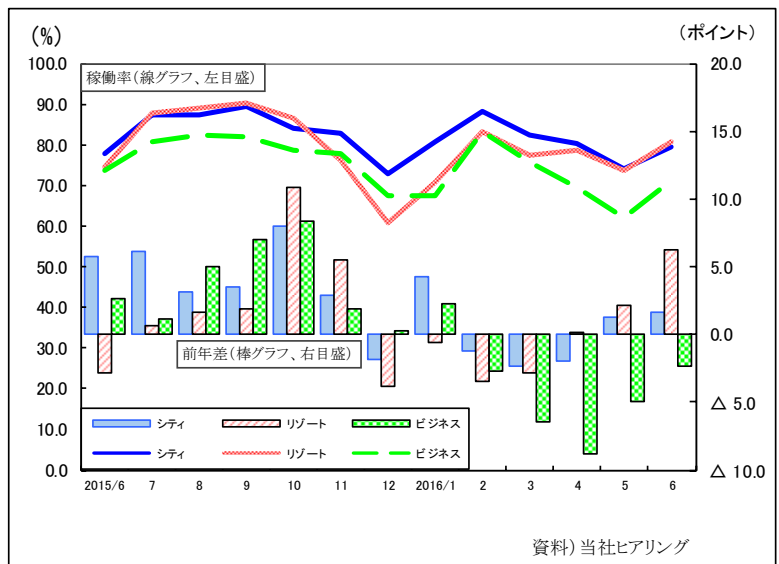
	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/6	78.0	r 74.5	73.6	5.8	r△ 2.9	2.6
7	87.2	r 87.9	80.6	6.1	r 0.7	1.1
8	87.5	r 89.0	82.2	3.1	r 1.7	5.0
9	89.3	r 90.4	82.1	3.5	r 1.9	7.0
10	83.9	r 86.7	78.6	8.0	r 10.8	8.4
11	82.9	r 76.0	77.6	2.9	r 5.5	1.9
12	72.8	r 60.9	67.4	△ 1.8	r△ 3.8	0.3
2016/1	80.5	r 70.9	67.3	4.2	r△ 0.6	2.2
2	88.3	r 83.3	83.4	△ 1.2	r△ 3.5	△ 2.7
3	82.3	r 77.3	75.9	△ 2.3	r△ 2.8	△ 6.5
4	80.1	r 78.6	69.3	△ 2.0	r 0.2	△ 8.8
5	74.2	73.5	62.2	1.3	2.1	△ 4.9
6	79.6	80.7	71.3	1.6	6.2	△ 2.3

注) シティ9ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス7ホテル

注) 2015年10月より、シティホテル対象施設数に変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

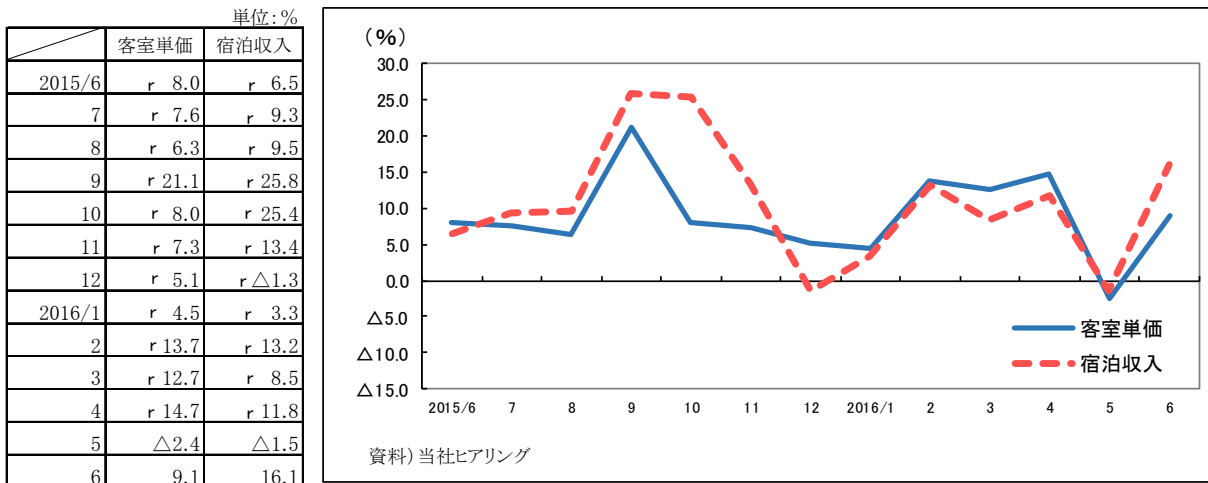
注) 2016年4月より、リゾートホテル対象施設数に変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



県内ホテル稼働率は、シティホテルが 79.6%と 1.6ポイント上昇(2ヵ月連続)、リゾートホテルが 80.7%と 6.2ポイント上昇(3ヵ月連続)、ビジネスホテルが 71.3%と 2.3ポイント減少(5ヵ月連続)しました。

④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。



※対象施設数:27施設(シティ9、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は27施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※2016年4月より、リゾートホテル対象施設数が変更(19⇒18)となったことから、2015年4月以降の数値を遡って改定した。

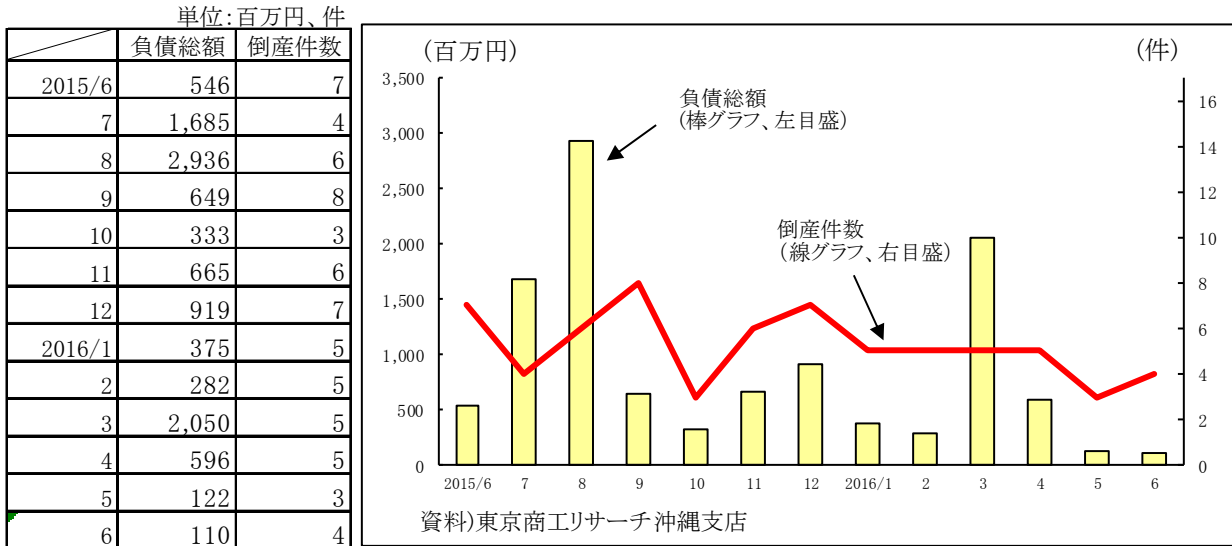
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

ホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年同月比 9.1%増と前年同月を上回りました。宿泊収入も同16.1%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

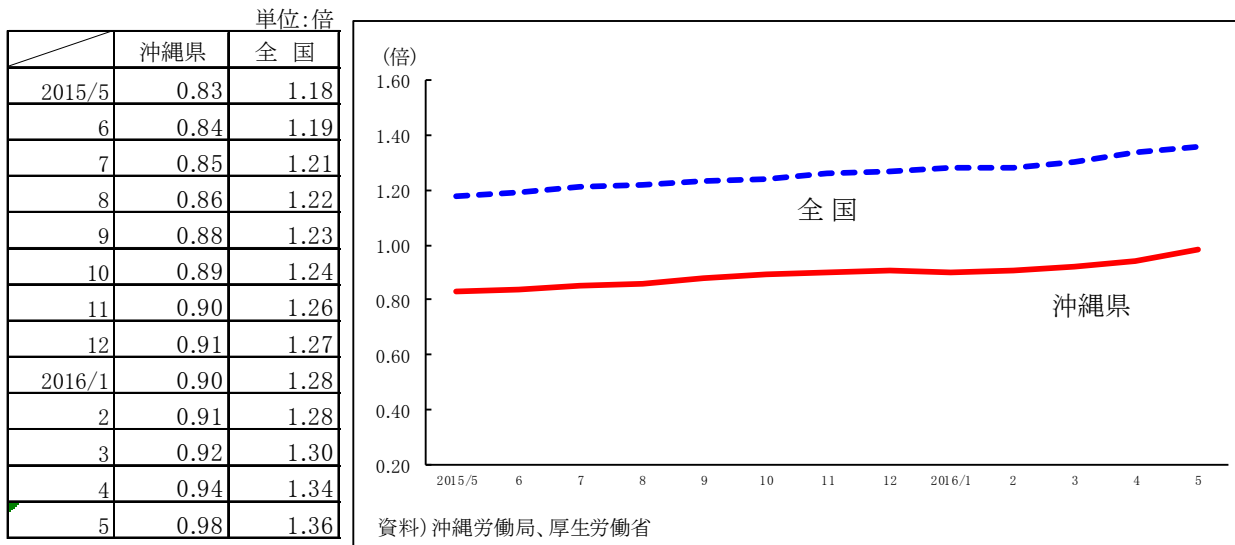


6月の企業倒産件数は、4件(うち、大型倒産や大口倒産は無し)発生し前年同月より3件少なく、負債総額は1億1,100万円の前年同月より79.9%減少しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(5月)…沖縄、全国はともに前月より上昇。

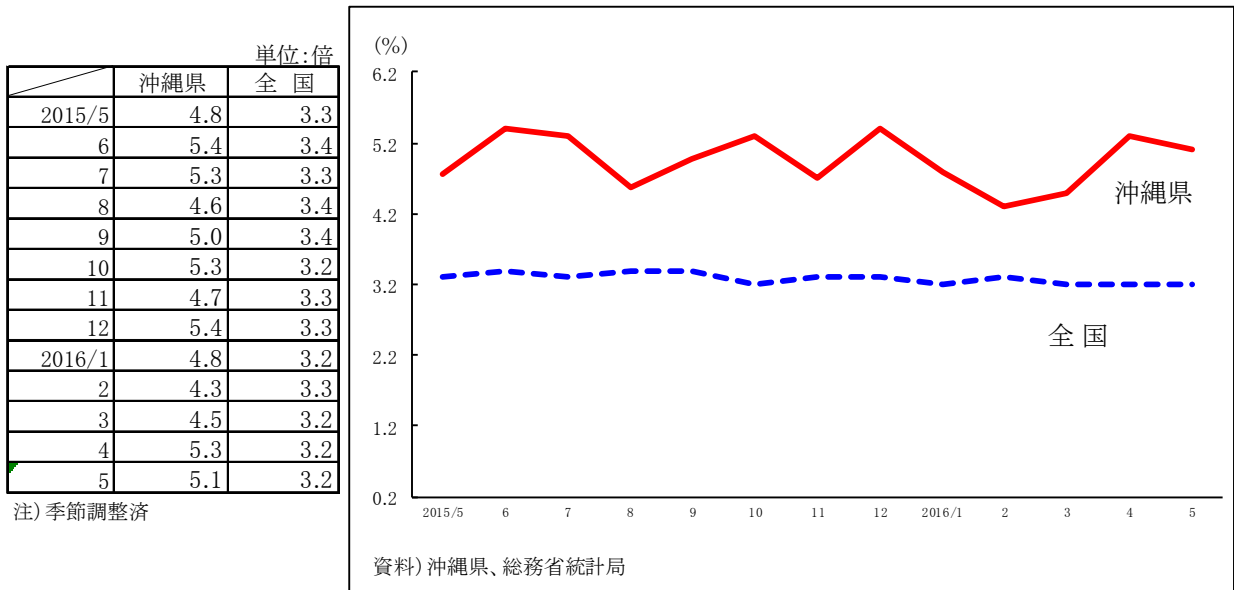


注)季節調整済

注)季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

5月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比1.3%増の26,249人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比3.2%減の26,745人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.98倍となり前月より0.04ポイント上昇しました。

(参考) 完全失業率(5月)…前月より下落。



5月の完全失業率(季節調整値)は、5.1%となり前月より0.2ポイント下落しました。